

あさひっ子だより



発行責任者 校長 菅野芳弘 発行日：令和4年2月21日

オミクロン株に最大限の警戒を！

県蔓延防止等重点措置期間延長 感染症対策も「レベル3」に引き上げ！

新型コロナウイルス感染症オミクロン株の感染急増に伴い、教育活動における対応のレベルも「レベル2」から「レベル3」へ移行して対応し、学校でも感染症対策の強化をしています。保護者の皆様には、不織布マスク着用へのご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。しかしながら、現在いつだれが感染してもおかしくない状況は続いています。今後も下記のことについてご確認していただき、保護者と学校の連携を図っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

学校の対応で大きく変更した点

○学校での陽性者発生の場合、学校が濃厚接触者を特定する。

○濃厚接触者の状況のとらえ方

- 陽性者がマスク無し（正しい状態で着用していない場合を含む）で、手が触れる距離（約1m以内）で15分以上接触した（会話等）。

※ マスク着用とは、不織布マスク（または同程度以上の効果がある物）を正しく着用している状態を指し、鼻出しマスク、顎マスクは不適切な状態となります。

感染対策の強化

1 健康観察の徹底

- 登校前の検温や健康観察の徹底。普段と体調が少しでも異なる場合は、無理をせず休養。
- 同居の家族に風邪の症状が見られる場合も登校を控える。
- 登校後、発熱の症状がなくても、鼻水やせき、のどの痛み等普段と体調が少しでも異なる場合は「早退」の連絡をさせて頂く。

2 マスク着用

- 不織布マスクの着用

3 休日等のお子さんの行動履歴の把握

- 行動履歴について必要に応じて伺う場合あり。
- 休日の外出についても、適切にマスクを着用

コロナ感染症にかかる連絡

お子様または同居者で以下の状況が判明した場合、休日昼夜を問わずご連絡ください。

- 陽性者が出た場合
- 濃厚接触者との連絡を受けた場合
- PCR検査を受ける場合

コラム「子育て」

リフレーミングで短所を長所に

「リフレーミング」とは、自分では短所だと思っていることでも、見方を変えると長所になるという考え方です。そう考えると、イライラしがちな子育ても気が楽になります。子どもたちは、おおむね自分の短所はわかっていますが、長所はわかりにくいものです。短所を長所として捉え、自信をもたせることも大切です。以下、例を挙げます。

- 引込み思案＝まじめでコツコツ、慎重、きちんとしている
 - うるさい＝明るい、活発、元気がいい
 - 優柔不断＝視野が広い、他の人の意見を尊重する
 - 心配性＝神経が細やか、気配りができる
- 詳しくはリフレーミング辞典で検索してみてください。